

中高一貫教育だより

令和4年11月11日（金） 第2号発行

平成13年に軽米高校と地域の中学校4校（軽米中・笹渡中・小軽米中・晴山中）との間で始まった「連携型中高一貫教育」は、今年で22年目になりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制約された活動も3年になりました。感染予防を徹底しながら、中高ともに通常に近い形での行事開催や、通常どおりの活動も進めています。

今号では、9月に行われた「地域支援者拡大会議」「高校説明会」10月の「中高一貫 数学集中講義」と、中高生徒会の活動を中心に紹介します。

「中高一貫教育地域支援者拡大会議」

9月29日（木）、中高一貫教育地域支援者拡大会議が軽米高校で開催されました。これは中高を通じて地域との連携を深め、生徒の郷土に対する理解を深め、地域の発展に貢献する能力と態度を養い、学校・行政・地域住民の三者一体となった軽米地域教育の推進を図り、中高一貫教育について、広く軽米町民に理解いただくことを目的としています。

会議は事務局を含めて30名の出席があり、50分間の会議でした。事務局から中高一貫教育の現状について説明があり、その後、質疑を経て、活発な意見交流がなされました。特に軽米高校の魅力や特色をどのように発信したり周知していくのかなど、軽米高校のさらなる発展についてのご意見が多く出されました。

出席された方々の中からは、さらに多くの意見交流をしたいので、時間を多くとってほしいとの意見が出されるなど、中高一貫教育に対する関心の高さが伺えました。



「軽米中学校高校説明会」

9月28日（水）軽米中学校3年生を対象にした高校説明会が実施されました。これは、3年生が進路選択の参考にするために、主に二戸地区内の高等学校を招き、各高校の特色等を説明していただく機会です。

軽米高校からは金濱校長先生が来校し、中高連携校であり、軽米町から充実した支援を受けている軽米高校の良さや特色について丁寧に説明していただきました。3年生も熱心に聞き入っていました。



「中高一貫 集中講義」

中高一貫の連携授業（高校の先生が中学校で授業を行う）は、岩手県の中高一貫校で実施されています。軽米高校と軽米中学校でも、継続して実施され、今年度も、数学が6月から10月、英語が8月から11月に毎週1時間、3年生を対象に実施しました。特に最後の月には、1週間連続して授業する「集中講義」が行われます。

～10/3(月)～10/7(金) 3年生数学～

数学では、普通の授業に面白さを感じてもらうことと数学への苦手意識を少しでも軽減させることを目的として、「関数」の授業を実施しました。



【集中講義を受けた中学生の事後アンケートの集計結果より】

質問1：数学の授業に関心を持って参加することができた。



質問2：中学校で学んだ数学が、高校でどのように活用していくかについて考えたり気付いたりできた。



質問3：集中授業を受けて良かった。



- あてはまる
- ややあてはまる
- どちらともいえない
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

「中高連携生徒会活動」

軽米中学校と軽米高校の生徒会役員は、定期的集まり、生徒会の交流をしています。その中で、毎年合同で活動する行事についても話し合い、活動の幅を広げています。

～あいさつ運動～

高校と中学校の生徒会役員が、月に1度、2つに分かれて高校、中学校に集まり、登校する生徒にあいさつをします。また、放課後には中学校に役員が集まり、生徒会交流をしています。



なお、9月20日に予定されていた中高クリーン作戦は荒天のため残念ながら中止となりました。

【あとがき】

毎年掲載していますが、全国で「中高一貫教育」を行っている高校は約600校。中高一貫教育には、中等教育学校、併設型、連携型（軽米はこの型）の3つの型があります。この「中高一貫だより」は、軽米町が進める「中高一貫教育」を広く軽米町民のみなさんにご理解いただくために発行しています。なお、中学校、高校共にホームページを開設しておりますので、ぜひ、そちらもご覧ください。

<発行：軽米中学校事務局（第2号発行担当）>